

「神話の縁結び かみがたりネットワーク」の設立について

古事記等の物語をご縁とし、古代からつながる出雲市、糸魚川市（新潟県）及び諏訪市（長野県）の3市が広域的な地域間連携を行うことで、物語の認知度向上とともに情報発信による交流人口の拡大を図るため、「神話の縁結び かみがたりネットワーク」の設立総会が糸魚川市において、下記のとおり、開催されました。

なお、当日は、設立総会のほか、一般公開による調印式と記念講演会が行われ、約200人の参加がありました。

記

1. 日時 令和元年7月6日（土）14：00～16：10
2. 場所 ビーチホールまがたま（新潟県糸魚川市寺町4丁目3番1号）
3. 内容
 - （1）設立総会
規約制定、事業計画・予算の承認
役員選任 会 長：糸魚川市長 米田徹
副会長：出雲市長 長岡秀人、諏訪市長 金子ゆかり
 - （2）調印式・記念講演会
 - ①糸魚川市 講師：土田孝雄氏（郷土史家）
演題：「出雲・諏訪・糸魚川の古代の交流」
 - ②出雲市 講師：平野芳英氏（荒神谷博物館学芸顧問）
演題：「“ひすい” から見た古代の日本海交流」
 - ③諏訪市 講師：原 直正氏（スワニミズム会長）
演題：「二つの国譲り神話」
4. 事業計画
 - （1）物語の認知度向上
 - ・設立総会の開催
 - ・各市広報、ホームページ、講演会等による物語の周知
 - （2）物語の情報発信
 - ・物語を紹介するパンフレット作成
 - ・ホームページ等の開設
 - ・記念切手作成
5. 予算額 全体事業費 2,350千円
【財源】各市負担金 1,500千円（500千円×3市）
切手購入負担金 850千円（糸魚川市）

6. 参考

【民間での地域間交流】

出雲市と新潟県糸魚川市、長野県諏訪市の間では、日本画家 川崎日香湊さんの神話をテーマとした日本画奉納などを契機に、民間での地域間交流が行われています。

平成 24 年(2012) 6 月 出雲市の NPO 法人「出雲学研究所」メンバーが糸魚川市を訪問

平成 27 年(2015) 6 月 日本画家の川崎日香湊さんが諏訪大社へ日本画を奉納、交流会

同年 11 月 ” が出雲大社へ日本画を奉納、交流会

平成 30 年(2018)11 月 ” が奴奈川神社へ日本画を奉納、交流会

令和元年(2019) 9 月 糸魚川市の「神話で結ぶご縁の会」メンバーが出雲市を訪問

～代表的な民間団体～

(糸魚川市) 神話で結ぶご縁の会

(出雲市) NPO 法人「出雲学研究所」、「出雲神話散歩の会」など

【古事記等による出雲市・諏訪市・糸魚川市のつながり】

1. 関係する市・祭神・神社

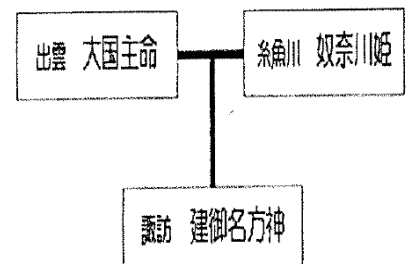
- | | | |
|-------------|---------|---------|
| (1) 島根県出雲市 | ・ 大国主命 | ・ 出雲大社 |
| (2) 新潟県糸魚川市 | ・ 奴奈川姫 | ・ 奴奈川神社 |
| (3) 長野県諏訪市 | ・ 建御名方神 | ・ 諏訪大社 |



2. 伝承による三市のつながり（「古事記」等）

(1) 大国主命と奴奈川姫（ぬなかわひめ）

大国主命が高志国の沼河（ぬなかわ）に住む沼河比売（ぬなかわひめ）を妻にしようと思い、高志国に出かけて沼河比売の家の外から求婚の歌を詠んだ。沼河比売はそれに応じる歌を返し翌日の夜、二神は結婚したと記されています。



(2) 建御名方神（たけみなかたのかみ）

大国主命と沼河比売（ぬなかわひめ）との間に生まれた子が建御名方神で、姫川をさかのぼって諏訪に入り、諏訪大社の祭神になったと言われています。

(3) 出雲大社の勾玉

出雲大社に保管されている真名井遺跡から出土した最高品質の「翡翠の勾玉」は、現在の糸魚川産のものであると言われています。